

## 令和5年度第1回鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会会議概要

- 1 日 時 令和5年6月26日（月） 10時00分～11時35分
- 2 場 所 鹿児島市教育総合センター2階 女性会館
- 3 出席者 鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会委員20名

### 4 会次第

- (1) 開会
- (2) 委員の紹介
- (3) 事務局職員の紹介
- (4) 会長・副会長の選出
- (5) 議事
  - ①計画策定の体制について
  - ②計画策定のスケジュール
  - ③計画策定の趣旨等について
  - ④本市高齢者を取り巻く現状
  - ⑤施策の体系（第8期）
- (6) 閉会

### 5 審議の概要

#### (1) 議事について

○本市の高齢化率は国・県と比較すると、国とはほぼ同じくらいで県よりは若干低い  
のに対して、要支援・要介護認定率が国・県と比較して高い理由は

⇒本市の要支援・要介護認定者数は、要支援1・2と要介護1の介護度が比較的軽い  
認定者が多い傾向にある。明確な理由はわからないが、介護保険の居宅サービス事  
業所等が県内の他市町村に比べて多く、サービスを受けやすい環境にあるためだと  
推測される。

○国や県が示す年齢区分によるものかもしれないが、高齢者が65歳以上と75歳以  
上で分けられている。年齢別の観点は施策にどの程度入っているのか。もう少し年  
齢区分でわけた形で施策に反映できないか。

⇒施策の体系として75歳以上の年代ごとにはできていないが、具体的な取組は事業  
ごとに行っている。高齢者にも元気な方がいらっしゃるため、年齢区分ではなく、  
一般高齢者と要支援・要介護認定者をわけた形での施策への反映となっている。

○高齢者等実態調査の対象者、対象者数、調査方法等はどうなっているか。

⇒一般高齢者、若年者、在宅要介護（要支援）者、介護保険サービス未利用者にわけ  
て6千人の方を対象に郵送による調査を実施しており、回収率は56.3%であっ  
た。

○第2編第4章の高齢者の介護の意向として示しているグラフの比較の部分と第5  
編の施策の展開にある今後の方策等の内容をもう少し考えた方がいい

- 鹿児島市は特別養護老人ホーム等の施設が増える一方、働く人が足りず、人員配置ができないことにより空床化が進んでいるため、こうしたことを考慮しながら整備については、検討して行ってほしい。また、人材確保や働きやすい職場づくりを進めてほしい。
- 介護予防や元気高齢者の育成が大事であるため、第5編第4章の介護予防についての内容を充実させるべきである。
- 第9期計画では、地域づくりなども踏まえ、町内会やコミュニティ協議会など、横の連携や情報共有について入れていただきたい。
- 第9期計画では、障害者のことも加味していただきたい。